

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	Dual energy CT を用いたプラークの性状・分布の評価
研究責任者	脳神経内科 齋藤拓也
研究実施体制	当院のみで実施される研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2028年2月28日
対象者	2026年3月1日から2027年2月28日までに聖隷浜松病院を受診した患者さん
研究の意義・目的	心臓から脳への血流経路である「大動脈弓部」「頸動脈」「脳動脈」に、動脈硬化により形成されたプラークは、脳梗塞の原因となります。しかし、これらのプラークの性状・分布について画像所見から詳しく評価する方法は確立していません。本研究の目的は、大動脈弓部または頸動脈、脳動脈にプラーク形成を認める患者さんについて、dual energy CT を用いてプラーク性状評価を行い、脳梗塞発症の危険性について検討することです。
研究の方法	対象患者さんについて、通常の診療として施行したCT血管造影画像データからプラークの性状、分布を評価します。また、対象患者さんについて、診療記録から患者背景因子（年齢、性別、既往歴など）、血液検査所見、画像所見（CT、MRI、エコーなど）を収集します。頸動脈プラーク内のコレステロール結晶の多寡と、各患者因子について比較検討します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳神経内科 齋藤拓也 TEL:053-474-2222(代表) 脳卒中科外来 9:00~17:00 平日